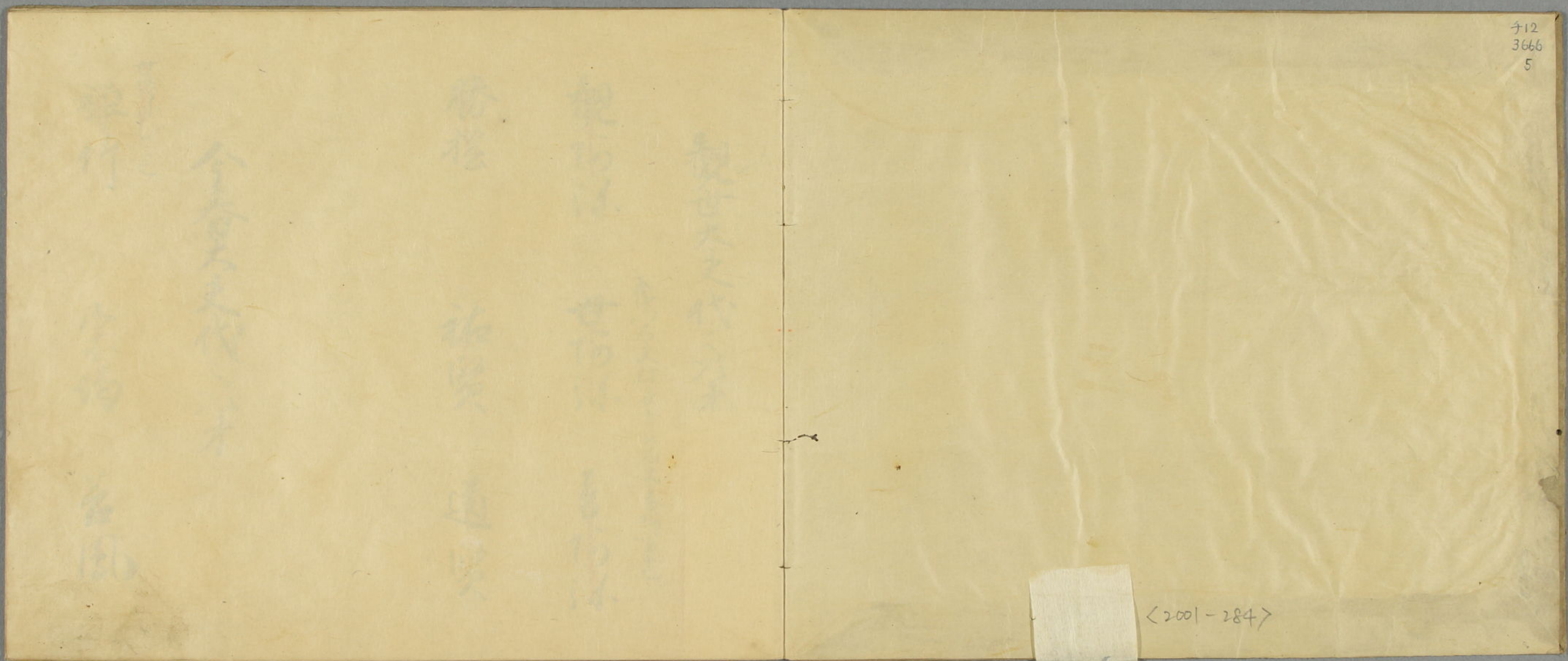


特 別
 12
 3666
 5

詩





子12
3666
5

<2001-284>

2001-284





觀世大文代之序



在書右文付子十は右文書阿系也

觀阿弥 世阿弥 吾阿弥

勝控 祐賢 道賢

今春大文代之序

世阿弥

禅竹 宗均 善風

七品

觀世方脇

金剛深々良

觀世方脇之初こは八田
市ん虎菊之良はツク
市ん名之脇をすんこ

虎菊之良

之良方より耳人こ

八田六良

丹波

金剛甲良

金剛市本之良は六良
剛右史及伯父こ

生一孫甲良

生一子子こ又生一市本と云者
公宝生方人こ生一市本之孫
自こ笛八史右史市本と云こ

觀世深々良

觀世市本之良持守り市本
り市本こ

觀世小市良

市本之良

觀世市本良

觀世市本之良市本之良
市本之良市本之良と云と云

今表三三三

弟文(はる)と云く親世を結
す(はる)と云く親世の父(はる)と云く
法名(はる)と云

今表三三三

今表(はる)と云く親世を結
す(はる)と云く親世の父(はる)と云く
法名(はる)と云

今表三三三

慶壽

何(はる)と云く者(はる)と云く

今表三三三

今表(はる)と云く親世を結
す(はる)と云く親世の父(はる)と云く
法名(はる)と云

慶壽

何(はる)と云く者(はる)と云く

今表三三三

何(はる)と云く者(はる)と云く

今表三三三

何(はる)と云く者(はる)と云く

今表三三三

何(はる)と云く者(はる)と云く

今表(はる)と云く親世を結
す(はる)と云く親世の父(はる)と云く
法名(はる)と云

今表三三三

何(はる)と云く者(はる)と云く

田ノ五ノ昂

五ノ昂ノ子

觀世ノ大ノ鞍ノ事

幸ノ松ノ三ノ昂

幸ノ松ノ三ノ昂ノ子

觀世ノ三ノ昂

幸ノ松ノ三ノ昂ノ子ノ則ノ也ノ
可ノ運ノ向ノ浮ノとノ云ノ

三ノ昂ノ子

觀世ノ三ノ昂ノ子ノ替ノ之ノ子ノ也ノ
らノいノうノ才ノ也ノ

觀世ノ小ノ昂

觀世ノ三ノ昂ノ子ノ也ノおノいノこノ
持ノ守ノとノ号ノ 信ノ免ノ

田ノ五ノ昂

小ノ昂ノ子ノ也ノ

大ノ藏ノ九ノ良

觀世ノ三ノ昂ノ子ノ也ノ

三ノ昂ノ子

觀世ノ三ノ昂ノ子ノ也ノはノ道ノ
長ノとノ云ノ

今ノ春ノ方ノ大ノ鞍ノ事

延令才吏

觀世音阿彌陀佛

牛造大

友好良

雅名 羊子好と云

十以系系

い

可子以系系

寶生方之大教之事

秀甲良

乃史才智世以
おいこ才子也

延令才良

同五七

或法中良良大藏乃良才也

金剛方大般若

小増しんぞう 石史伯文ししはくぶん

觀世音くわんぜいおん 小般若しよはんげ

幸松しやうしょう

宮増みやぞう

觀世くわんぜい 宮みや

觀をくわんを 世せ 音おん 小しよ 般若はんげ

後増ごぞう

増ぞう 甲が 親しん

増ぞう 宮みや

田でん 中ちゆう 山さん

甲が 親しん

文ぶん 増ぞう 山さん

文ぶん 増ぞう 山さん

今春方小鞞之事

泚本良

坂本史と云

子中良

觀世祐賢代に小鞞子ハ
通懐と云ふ云方ハ行後
美濃持守と云在久宮増
中良才也

多瓶泚良

子増泚七

泚本良兄に美濃持守ハ
才也

大儀表中良

美濃持守才也 大儀
表才也

寶生方小鞞之史

生一三之助

りくとお才也

二子若守良

宝生小守良

觀世方笛吹之事

ちん
平更子(平更法
名平阿と号

手ぬい
平更子(平更法
名平阿と号

養懐又七
ちん(平更子(平更法
名平阿と号

廿波ちん
養懐又六(平更子(平更法
名平阿と号

石橋
ちん(平更子(平更法
名平阿と号

丁六
石橋(平更子(平更法
名平阿と号

養懐
石橋(平更子(平更法
名平阿と号

ちん
石橋(平更子(平更法
名平阿と号

今春方笛吹之事

養懐

延命考文

考文

宝中万箇の考文

耳考文

耳考文

源考文

源考文

新考文

新考文

助^{中上}考文

助考文

金剛万箇の考文

山又考文

小笛考文

河内考文

ちり万箇考文

ちり万箇考文
これらも各々箇別
あり

ありては竹子笛を傳せしを史に傳
神主とされさうりて此のを傳せ

觀世方ねえ

源阿保

源阿保の人の名人に

いさよる史

父を三つりていさよる史と
うさよの常陸院の村に
者なり親八東山を依り
代り前二代にあり

本着右史

越前之者といはれと云ふ
三好の名人に

不心

三長史

わよの名人に義徳持守に

源七

源阿保の史

源史

左野とらりし史を史の
者といふなり

原右衛門

備前守

今春方相言

高安海三良

甲子良

備前守才公三良方
考(諱)公

海三良

備前守



宝生方相言

^{中上}生松海三良 名人

阿波倉三良

小法柳三良

又六

金剛方相言

虎菊書山 虎菊中(お)

くち能防河 俗名 子念

親世座(虎)尉

國彦在判



九月廿一日

十月廿五日

公事往來

親王在府

國產在村

